

令和2年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：31007
学校名：宮の森中学校

プログラム改訂のポイント		◎自らの体力向上を目指し、日常的に運動に親しむ意欲を高める。 ◎生涯にわたり、健康で充実した生活を送るために必要な知識や技能を身に付けさせる保体教育を推進する		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「健やかな体」の育成に係る目指す子ども像	☆自他の安全に留意し、心身ともにたくましく、粘り強くやりぬく生徒 ☆毎日の生活で、自分の心身の健康について自覚し、保持増進を図ろうとする生徒		
関する成果や課題	A 体育に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○スキー授業や陸上記録会の継続実施 ○運動部活動活性化のための(特別)外部指導者の活用 ○通学路除雪ボランティアの実施と「雪かき汗かきチャレンジ」への参加 ○新体力テストの全学年実施	【成果】 ⇒校区内にスキー授業を実施するスキー場がある。特に技術面で高いレベルをねらう生徒が増えている。 ⇒顧問の指導の他、外部指導者による指導により競技力とやる気が高まっている。 ⇒体育的行事など、継続開催することで運動に親しむ機会がつけられてきた。	【課題】 □生徒の中には授業の時だけしかスキーを経験しない生徒が増えてきているので、身近な環境を活かしていけるように工夫する。 □技術面に加え、メンタル面や食育の面についても意識付けをしていく必要がある。
	B 健康に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○健康教育の充実 ・保健体育での授業 ・生徒のメンタルヘルス啓発 ・薬物乱用防止教室の実施 ○給食の時間、家庭科の授業を通して、食に関する授業の充実	【成果】 ⇒生涯にわたり、健康によいものかどうかを判断する力を身に付けようとした。 ⇒自分のお薦めの弁当レシピを作ったり、自らの食生活について興味をもったりする生徒が多くなっている。	【課題】 □実生活の中で活用し、工夫や改善ができる思考力・判断力を育成すること。 □普段の食生活でもバランスのとれた食事をするように心がけること。
な	取組の最重点	A・B 心身の健康の保持増進のため、体力向上や生活習慣改善の取組をバランスよく進めていく。		
今年度の具体的	A 体育に関する指導の充実	○体育におけるスキー授業の継続実施、陸上記録会の存続 ○運動部活動活性化のための(特別)外部指導者活用(メンタル面も含む) ○積極的な通学路除雪ボランティアへの参加と、「雪かき汗かきチャレンジ」への参加等の取組継続・強化		
	B 健康に関する指導の充実	○保健の時間を通して、思考力や判断力を育むような、保健授業の実施 ○給食の時間、家庭科の授業を通して、食に関する指導充実を図る取組の継続に加えて、「家庭教育学級」、「サタデースクール」による食や栄養に関する保護者への啓発		
方法	検証の各種調査等の活用	○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用(日常の実技テストや観察等) ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の活用 ○児童・生徒アンケートや保護者アンケート等の読み取りの活用 ○学校評議員会・学校関係者評価等の活用		